



## 防災意識 ～自分の身を守る～

校長 小田 和宏

朝晩はぐっと寒くなり、登校する子どもたちの服装からも季節の変化を感じます。ついポケットに手を入れて寒さをしのぎたくなりますが、安全のために手袋をするなど、お声かけをお願いします。日中、日差しがあるときは、穏やかな気候でもあります。上着等で体温調節のできる工夫もお願いできたらと思います。

さて、10月26日、総合防災訓練を行いました。例年では、防災の日（9月1日）に近い日程で行いますが、9月中は分散登校であったため、10月に延期しての実施となりました。

校庭避難をする訓練の前に、大きな地震が起きたときの身を守る方法や気を付けること、避難訓練を行う意味などを放送で確認しました。「お（さない）、か（けない）、し（やべらない）、も（どらない）」の合言葉は、子どもたちには浸透していますが、実際に地震が起こったときに落ち着いて行動できるかどうかが大切だということを再確認していきました。

10月24日には、今年度1回目の「高田東小学校防災拠点会議」がありました。港北区役所の担当の方、地域の防災拠点運営委員の皆さんが集まり、地域の防災対策や今年度の防災拠点訓練について話し合う場です。昨年度、コロナ禍での避難のあり方について議論し、体調によって避難した時の動線を変えるように改めました。今年度は、コロナ感染状況の影響でこの時期に第1回の会議となったために、防災拠点訓練の開催時期も含めた議論となりました。

震度5強が観測された場合、高田東小学校は、避難場所の機能・情報集約の場となる地域防災拠点が開設されます。

過日の横浜市内でも震度5弱の揺れになった地震は、多くの子どもたちの記憶に残っていました。訓練の中で、学校施設の役割について話をするとともに、地震があったときの行動について家庭での約束も確認しておこうと話しました。

コロナ禍の前は、地域の方にご協力をいただき、地域防災拠点訓練とタイアップした防災教育を行っていましたが、ここ2年間は開催することができていません。災害発生時、まず「自分の身を守ること」と言われています。そして、地域の人たちの助け合いが大きな力になるということは、多くの場で耳にしていることと思います。そうした防災意識や地域でのつながりを大切にすることを、子どもたちが学んでいけるように防災教育を進めていきたいと思っています。

このたび、港北区スポーツ協会様より、港北区の市立小学校の子どもたちのために「スポーツ支援金」をいただきました。コロナ禍で、運動についても活動が制限されている中ですが、子どもたちが楽しく運動に親しめるように、ボールを購入させていただきました。本当にありがとうございました。

## 3年生 水と緑の学校

10月12日に、NPO法人鶴見川流域ネットワークの方々を講師としてお招きし、「早淵川に生息する生き物について」の体験学習を行いました。



その日に捕まえた たくさんの  
カニや魚を観察しました。

早淵川は、昔は洗剤が流れていて、生き物がほとんど住めなかったそうです。下水処理施設を作ったり、定期的に清掃活動を行ったりして、今はたくさんの生き物が住めるようになりました。



川の周りに生息している植物の名前も教えてもらいました。

## 1年生 どんぐり拾いに行きました！

10月20・21日に高田天満宮にどんぐり拾いに行きました。小学校に入って初めて地域に出かけました。道を歩くときは端を歩くことや、話をするときは静かに話すなどを確認してから出かけました。みんなマナーを守ることができました。

高田天満宮に着くと、とても立派などんぐりや、きれいな葉が落ちていて、子どもたちは「すごい！大きいどんぐり見つけた！」「こんなきれいな葉っぱもあるよ！」など、とてもうれしそうに拾っていました。

生活科の学習では、どんぐりや葉っぱを使って、何をして遊ぶかを決めていきます。どんな遊びが出てくるのか楽しみです。



## 5年生 春から育ててきたイネをついに収穫し、精米しました

5月の下旬に植えたイネも暑い夏を乗り越えてすくすくと育ち、鳥や台風の被害なども受けることなく、無事に収穫の時期を迎えることができました。10月の月上旬に、ずっしりと実をつけたイネをみんなで収穫しました。稲刈をする際には、子どもたちは鎌やはさみを安全に扱い、刈っていきました。声をかけ合って協力しながら、あっという間に刈り取ってしまい、5年生のチームワークの良さを感じる時間となりました。

3週間ほど、干した後、今度は脱穀と精米の作業を行いました。どちらの作業も機械を多く必要としますので、JA 横浜の方に学校にお越しいただきました。プロの方に機械の使い方を教えてもらいながら、意欲的に作業をしていく子どもたちの姿が多く見られました。精米機から真っ白なお米が出てくると歓声をあげる子どもたち。半年間、育ててきたお米が食べられる形となり、達成感を感じることができたようでした。

今回、白米はもちろんのこと、もみ、わら、米ぬかを手に入れた子どもたち。これらをこれからどのように有効に活用するかを5年生全員で考えていきます。



## お店ではたらく人のくふうを見つけました。

3年生は、スーパーマーケットのくふうについて調べています。



チラシに載せた商品が目立つように、ポップをつけています。



商品の顔（表）はどこか考えて、お客さんの目に入りやすいように並べているそうです。



もっと深く知りたいこと、疑問に思ったことを解決しに、スーパーマーケット「三徳」の店長さんに話を聞きに行きました。



おうちの方が買った食材の袋やチラシを集めて産地マップを作りました。日本だけでなく世界からも仕入れていることが分かりました。